

総務文教常任委員会

委員長 久夫 野澤
副委員長 三千夫 黒澤
委員 夫 照安 大久保
昭安 新井
秋 兵衛 加賀崎
和 浩 松岡
弥 和 大嶋
生 浩 関口

工事請負契約の締結について（熊谷市立熊谷西小学校屋内運動場建築工事）

問 これから契約をして卒業式までに間に合うのか、伺いたい。

答 来年3月14日完成を見込んでいます。毎年学校の屋内運動場建築工事については卒業式までには間に合わせるように行っている。

（所管課・教育総務課）

問 昨今の資材の高騰が続いている中で、予定価格についてはこういう事情を勘案されているのか、伺いたい。

答 資材等については設計基準価格の改定がなされ、また公共労務単価が増額改定されており、予定価格に反映されている。これは経済状況を盛り込んだ数字であると考えている。

（所管課・契約室）

工事請負契約の締結について（熊谷市立桜木小学校屋内運動場建築工事）

問 新築される屋内運動場北側から学校敷地に入れなくなるのか、伺いたい。

答 現在ある北側入口からは入れなくなるが、新たに西側の文化会館との

境の所に入口を設ける。
（所管課・営繕課）

問 屋内運動場建替えでは国からどのくらいの助成が出ているのか、伺いたい。

答 平成24年度の実績では、負担金と環境改善交付金合わせて3割弱である。

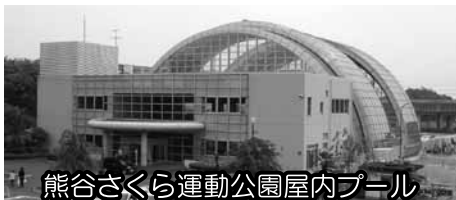
（所管課・教育総務課）

平成25年度熊谷市一般会計補正予算（国庫支出金）について

問 地域の元気臨時交付金について、具体的な事業は決まっているか伺いたい。

答 熊谷さくら運動公園屋内プールの空調設備の改修および熊谷さくら運動公園の野球場スコアボードで手書きとなっている選手名表示の電光掲示板化、バックネット裏観客席のイスの交換などを予定している。

（所管課・企画課）



熊谷さくら運動公園屋内プール

環境産業常任委員会

委員長 高広 閑野
副委員長 幸子 林
委員 健 昇 原 健修
市 郎 原 修
み 市 原 修
延 市 原 修
宣 市 原 修
延 市 原 修
実 市 原 修

平成25年度熊谷市一般会計補正予算（衛生費・農林水産業費）について

問 一般廃棄物、可燃・不燃ごみおよび紙資源収集運搬業務委託について、どのくらいの割合で業務委託をしているのか、また今後はどのように考えているか伺いたい。

答 現在の委託率は可燃・不燃ごみの収集量と比較すると委託70%、直営30%である。また、現在のところ新たな業務委託は考えていない。

問 熊谷地区、妻沼地区、大里・江南地区のごみの量の割合はどのくらいになるのか伺いたい。

答 妻沼地区が14・0%。大里・江南地区が9・9%。熊谷地区の委託分が45・7%、直営分が30・4%である。

（所管課・環境美化センター）

問 土地改良施設維持管理経費1,300万円は、ため池の耐震調査というのだが、対象となる件数、調査内容はどのようなものか伺いたい。

答 市で所有している32カ所のうち26カ所が対象となっており、点検内容は堤体の材質、堤高、堤長、堤長幅、

貯水量、のり面勾配等、ため池がどのような状態になっているのか、また、堤体の老朽度ということによって水位の余裕高がどのくらいあるのか、クラックが入っているかなどを調査する。

問 ため池が32カ所中、26カ所ということだが、これが選ばれた基準はどういうものか、また、残り6カ所はどうするか伺いたい。

答 国の補助金で実施するので、国の基準が、かんがい受益面積2ヘクタール以上のため池ということとなっており、残り6カ所については受益面積が小さいので調査予定はない。

（所管課・農地整備課）

問 国・県の方針で機械等に補助金を出しているようであるが、土地の集約化に対してはどのような考えを持っているのか。

答 現在、『人・農地プラン』を策定しており、その中で、農地を集積して耕作放棄地を解消しながら、規模拡大・安定した経営を進めていくこととなっている。

（所管課・農業振興課）

市民福祉常任委員会

委員長 健二 厚
副委員長 小池 甚一
委員 小林 富智子
松本 美智和
大山 和一
三浦 一
小林

熊谷市児童福祉審議会条例の一部を改正する条例について

問 この審議会ではこれまでどのような審議を行ってきたのか伺いたい。

答 当審議会においては、本市の児童福祉全般について調査審議をしていただくことになっており、この3年間の審議事項としては、現行の熊谷市次世代育成支援行動計画の進捗状況をはじめ、大里地区保育所の統合方針やその統合整備事業の進捗状況について報告し、意見を伺っている。また、平成25年1月には、『新たな子ども・子育て支援制度について』も議題として審議会を開催し、当制度の概要と今後の市の対応について説明をしたところである。

(所管課・子ども課)

熊谷市暴力団排除条例について

問 いわゆる暴力団対策法には具体的に市民が暴力団員を排除することについて触れていないということだが、条例においては明確に市民に対して排除しなさいと決めているものか理解してよいのか伺いたい。

答 市民が暴力団員を排除しなさいということではなく、基本理念である暴力団を恐れない、資金を提供しない、利用しないという意識を市民の方々に持ってもらい、市、市民そして事業者が連携・協力して暴力団排除活動を推進していくことを定めたものである。

(所管課・安心安全課)

平成25年度熊谷市一般会計補正予算(民生費)について

問 市民しあわせ基金の現在の残高と、この基金がどのようなことに使われているのか伺いたい。

答 平成25年3月31日現在、市民しあわせ基金の残高は960万2,080円となっている。また、基金の用途は、高齢福祉事業、障害福祉事業、児童福祉事業のほか、その他社会福祉事業経費に充てられている。

(所管課・福祉課)



都市建設常任委員会

委員長 淳
副委員長 忠之
委員 次夫 美吾 新一
守屋 清正 勝信
山田 井田 岡
新井 福富 森

熊谷市特別用途地区内における建築物の制限等に関する条例について

問 大規模集客施設の制限を1万平方メートルの床面積とした経緯を伺いたい。

答 平成19年のまちづくり3法の改正において、大規模集客施設として、店舗等の定められた用途に供する床面積が1万平方メートルを超える建築物と定義された。

問 提案説明の中に、中心市街地の活性化を図るためとあるが、大規模集客施設の立地に規制をかけることで活性化が本当に図れるのか伺いたい。

答 大規模集客施設が市街地縁辺部の準工業地域にできてしまうことによる中心市街地の空洞化やまちづくりの衰退を防止することが中心市街地の活性化につながるものと考えている。

(所管課・建築審査課)

平成25年度熊谷市一般会計補正予算(土木費)について

問 熊谷さくら運動公園野球場のバックネット裏のベンチの改修工事と

は具体的にどのような工事か伺いたい。

答 バックネット裏のベンチの改修工事は、下がコンクリートで上がプラスチック製の板でできたベンチのプラスチックが劣化しており、それを交換する改修工事である。

問 観覧席の数はいくつか。

答 今回改修する観覧席の席数は約1,500である。

(所管課・公園緑地課)



熊谷さくら運動公園野球場スコアボード



バックネット裏観覧席